

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社麻場)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・ハラスメントや差別に関して社内の相談窓口及び社労士による外部の相談窓口を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する文書を社内で周知している。 ・社内の相談窓口及び社労士による外部の相談窓口を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・時間外労働・休日労働に関する協定届について締結しており、この協定を遵守しながら長時間労働のチェック体制を整えている。 ・週一でノー残業を実施している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者について2名在籍しており、適切な労働環境整備を図っている。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・月に一度、安全衛生委員会を実施しており、社内バッロールを実施。労働環境について整備している。		3						8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年に一度、ストレスチェックテストを実施しており、この結果について、役員及び安全衛生委員会にて情報を共有、予防に努めている。		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・60歳定年以降の従業員について本人の意思を尊重した上で、再雇用を行っている。				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・各部署毎に教育訓練を実施している。			4	5.5			8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に則った体制、環境づくりに努めている。				5.5			8.5	10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・特定化学物質を使用した業務に常時従事する社員に対して、年2回の特定健康診断を実施。 ・40歳以上の希望者について、生活習慣病予防健診を受診している。		3						8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類や分別について明記した文書を社内に周知している。 ・廃棄物の処分量についてマニフェスト等を元に表にまとめ、管理している。												11.6	12		14.1		
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気・ガス等のエネルギー使用量については各種Webサイトにて使用量を把握し、表にまとめている。							7.3							13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・社用車にドライブレコーダーを導入し、アイドリング等について管理を行い、車両の使用者に対して、是正している。						7.2 7.3							12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・特定化学物質について、安全データシートを取得し、適切な使用を行っている。			3.9		6.3				11.6	12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) ([非該当]を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材料・製品の提供を通じて、生物の多様性保全に配慮している。									6.6							15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・各種ゴミの分別を心がけている。特にダンボールや古紙、空き缶、ペットボトルについてはリサイクル回収業者に依頼し、収集運搬して頂いている。												13	14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ												6.4 6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ											3.9	6	7			12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																	12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ												7.2				13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・方針を作成し、社内に周知している。																16	16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・方針を作成し、社内に周知している。																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・自社の特許について適切に管理している。								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・就業規則に個人情報保護及び特定個人情報の保護について明記しており、適切に管理している。																16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ											5	8	10	12	13	14	15	16	17		
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		・パートナーシップ構築宣言について作成、公表する。 (実施時期:今年度～来年度中) ・現在、宣言に向けて各種整備対応中。		3						8	9	10						17		

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																									
						1 製品・サービス	2 社会貢献・地域貢献	3 組織体制	4 資源・エネルギー効率化	5 資源循環型社会実現	6 資源・エネルギー効率化	7 資源循環型社会実現	8 資源・エネルギー効率化	9 資源循環型社会実現	10 資源・エネルギー効率化	11 資源循環型社会実現	12 資源・エネルギー効率化	13 資源循環型社会実現	14 資源・エネルギー効率化	15 資源循環型社会実現	16 資源・エネルギー効率化	17 資源循環型社会実現									
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品の品質管理に関する部門にて、品質管理を確保する仕組みの構築を行っている。																12.4										
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・品質管理に関する部門にて、管理徹底している。 ・該当部署による品質会議を実施。改善に努めている。															9											
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ																		6			12 13 14 15								
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ														1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域との対話や展示会に参加し、対話に基づき、地域への影響の把握を行い、製品の改善に努めている。															4			9	11	12	14	15	17			
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・新型コロナウイルスが流行した際に長野市へ自社製噴霧器20台とマスク5,000枚を寄付した。 ・AC長野パレスセイロ、信州ブレイブウォリアーズへスポンサー支援を行っている。														4			11			14	15	17				
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ																			8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・期の始まりに全社に経営方針および経営目標を掲示、共有している。															8	9							17			
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・法令順守についての文書を作成、社内に周知している。																						16				
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・担当者を選定済。情報収集等対応している。																					16					
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・顧客満足度アンケートを実施しており、調査結果について把握し、社内で適切に対応している。																				16	17					
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																									16				
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																								16					
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																			9	11	13	13.1			16				
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																			8	9						17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定